

平成 21 年度第 1 回九州ブロッククラブミーティング 2009 開催報告

日時：平成 21 年 6 月 13 日（土） 13：15 ～ 17：00

会場：大分県総合社会福祉会館

平成 21 年 6 月 13 日（土）に「第 1 回九州ブロッククラブミーティング 2009」が大分県総合社会福祉会館において開催された。九州ブロックの 63 の創設支援クラブから 101 名の他、地方企画班員、各県体協担当者・クラブ育成アドバイザー、情報提供者等総勢 137 名が参加した。

今回のグループディスカッションでは、全体テーマを『“備えあれば憂いなし”のクラブづくりノウハウを学ぶ！』として、創設支援 1 年目クラブ、2 年目クラブで会場を分けて実施した。まず 1 年目クラブは「クラブの土台を創るための“備え”とは？」というサブテーマで、TMK チャレンジクラブ（大分県）より、創設 2 年目クラブは、サブテーマを「クラブ創設に向けた“備え”とは？」として、火の山スポーツクラブ（熊本県）よりそれぞれ情報提供いただいた。



情報提供とグループディスカッション・全体会の内容については、以下のとおりである。

グループディスカッション（1 年目クラブ）

テーマ「“備えあれば憂いなし”のクラブづくりノウハウを学ぶ！」

サブテーマ「クラブの土台を創るための“備え”とは？」

* 情報提供

情報提供は、大分県「TMK チャレンジクラブ」クラブマネジャーの成重晴雄氏。平成 16 年、17 年度に育成指定クラブ委託事業を受託し、この間の創設準備における苦労や課題点等について以下のとおり事例発表いただいた。

設立までの経緯（人・もの・金・情報の視点から）

◎「人」の視点；準備段階の当初は、「行政主導」により各団体の役員に委員の委嘱を行ったが、実働可能な委員会を組織することが困難であったため、2 年目は実働可能なやる気のある委員を全域から選任した。若い参加者もあり、彼らを県のクラブマネジャー講習会に派遣し、多くの人びとと交流することで彼らのモチベーションも高まった。組織としては部会も総務、事業、広報の 3 部会で当初はスタートした。

◎「もの」の視点；活動拠点は学校施設、公民館、公営体育施設を活用している。ク

ラブハウスが無く、市教委の一室にクラブマネージャーが勤務する状況であり、クラブハウスの必要性を感じる。

◎「金」の視点；設立までは、日本体育協会の委託事業を受託し、100%委託金により準備作業を行い、設立後は、会費、市補助金、県補助金、スポーツ振興くじ助成により運営をしている。会費については、年会費で、子ども2000円、大人4000円、家族会員6000円で年間予算は230万円程度である。

◎「情報」の視点；市報掲載やクラブ会報を作成し、全戸に配布したが、なかなか効果が現れなかった。今年はCATV（ケーブルテレビ）を活用したところ（一週間15分間、マネージャー出演）かなり効果があり、市民から総合型地域スポーツクラブに対する話が出るようになった。

合意形成を得るためには、なんと言っても「クチコミ」が一番の効果がある。既存団体との話し合いも重要だが、学校、スポーツ少年団関係者等は地域や団体の特性があり、かなり苦勞をしたが、最近では関係者の理解も向上し、「ミニバレーボール」や「卓球」の要望があり、さらには地域の特色を生かした「カヌー教室」を立ち上げることにより、活動の幅が広がりつつある。



最後に、

最後に、

「自分の夢を実現させるためには、一人でも多くの理解者を集めることです。一人ひとりの力は小さくてもまとまれば大きな力になります！！」と、力強く締めくくった。

* 1年目クラブグループディスカッション

参加者を6～8人の8グループに分け、各県アドバイザー、地方企画班員、指導主事等を進行役として、自己紹介の後、テーマ「クラブづくりの土台を創るための“備え”とは？」についてグループディスカッションを行った。

協議の視点1「クラブ理念」について

1年目のクラブとして、「基本理念」までの協議が出来ているクラブはほとんど無く、個人的に考えている「クラブのあるべき姿、どんなクラブにしたいか」について「マスタープランワークシート」に記入をして貰い、その後全員の発表を行った。

多くの参加者が、「マスタープランワークシート」に記入することの難しさ・表現することの難しさを訴える一方で、基本理念は、地域のニーズなどのアンケート等を実施し、地域の実態に即した内容にすることが重要ではないかという意見も出された。進行役からは、「平易な文章表現」で「参加してみたい！と思うようなキーワード」を用いてその地域の持っている現状課題を解決するための内容を盛り込む等のアドバイスが行われた。クラブのターゲットやエリアについても協議を行った。クラブ間でかなりの違いがあり、子ども中心、高齢者中心、子どもと高齢者の交流などをどのように仕組むのか。また、家庭婦人をどのように巻き込むかなど地域課題に応じた意見が出された。いずれにしても、自分の

目指すクラブづくりへの夢を確認出来たように思う。

協議の視点2「委託期間2年間の目標設定」について

「マスタープランワークシート」の目標項目に沿って、委託期間1年目、2年目までについて各クラブの計画を作成し発表した。クラブによっては準備委員会、運営委員会が未開催のクラブもあったが現時点での計画が提案された。

特別支援事業を受託したクラブと今年からスタートするクラブには若干の温度差が感じられ、参加者も行政担当者、地域関係者の違いもあったが、それぞれが、今感じている意見を率直に述べる場となった。特に自治会を代表して会長自ら準備委員となって地域活性化を目指そうとするクラブからは、設立準備段階からスポーツ大会や教室などのイベントを企画し、クラブの存在をアピールすることや地域のキーパーソンを巻き込みクラブの地力を高めて行くことも必要であるなど前向きな意見交換がなされ、まさに地域主導の大切さを強く感じた。

グループディスカッション（2年目クラブ）

テーマ「“備えあれば憂いなし”のクラブづくりノウハウを学ぶ」

サブテーマ「クラブ創設に向けた“備え”とは？」

* 情報提供

情報提供は熊本県「火の山スポーツクラブ」事務局長園田浩文氏。

創設支援2年目クラブにとっては、来るべき設立総会に向け理念、マスタープランの策定、設立準備委員等の意識の高揚及び共有等大切な時期にあり、そういった観点から、この時期に具体的に何をどうやってすべきかを事例発表いただいた。

* 2年目クラブグループディスカッション

参加者を各7名程度の8グループに分け、各グループの進行は各県クラブ育成アドバイザー、地方企画班員が担当し、事務局より配布された討議上の留意点を踏まえ、活発なディスカッションを行った。まず、コーディネーターより趣旨説明の後、自己紹介、そして「マスタープランワークシート」を使って自分のクラブのマスタープランを作成した。その中で既にクラブとして基本理念、設立時点での「クラブのありたい姿」などが明確に定められているクラブが殆ど無い状況で、どのクラブも設立に向けて役員会議、そして教室などさまざまなメニューは実施しているものの、基本理念等一番重要なはずの部分が置き去りにされており、討議の中で改めて大切さを認識した。また、「設立総会に向けて今、そしてい



つ何をすべきなのか」という疑問が出され、それに対し「早めに設立総会の日時を決めた上で、規約作成などやるべきことを一つ一つ実施していくことで後々慌てることがないようにしたほうが良い」という意見があった。

最後に「人」の大切さについて、土台のしっかりしたクラブの設立、そして運営を行うには、「人」の存在が大きいということで、いかに良い人材がクラブの中心となって活躍するかにはクラブの将来はかかっており、設立までにさらに会長をはじめクラブマネージャー等役員意識の高揚、共有を図ることが大切であることを再確認した。

* 全体会・報告会

1年目、2年目クラブより代表して1クラブずつ報告を行った。

● 土谷班員の意見

福津市、野上さん(創設2年目)の発表について

(野上さんが税理士であることをあげ)クラブには色々な人(スポーツ関係者のみでなく)が関わる必要があると、それが地域の活性化にもつながる。



下ノ江クラブ設立準備委員会、大戸さん(創設1年目)の発表について

創設1年目クラブにとっては、マスタープランの作成を考えることが難しかったかもしれないが、クラブづくりは、その場しのぎでは長続きはしない。そのためにマスタープランが必要となってくるが、まずは、その土台であるクラブの理念をしっかりと作ってもらいたい。「理念」と考えると少し難しくなってしまうかもしれないので、「夢」と考えるといいのではないかと。クラブ設立を考える少人数からでも、自分たちの地域をどうしたいかといった「夢を語る場」をたくさん作って、しっかりとした理念をつくるのがクラブの土台となる。

* まとめ

設立準備委員会の人たちにはよく言うことですが、総合型クラブの「総合」というと、多種目・多志向・多世代という形式だけを思い浮かべるが、総合型クラブの「総合」とは、「人間」の総合も含まれることだと思う。

地域の課題解消や、やりたいことや夢を一人で叶えることができなくても、夢を語り集まった人たちで、お互いにできることを補い合いながらやっていると、知らずと総合型クラブになっている。ゆえに、まず「人」を大切にしなければならないと考えているし、「人」の総合(人と人との関わり)が、総合型クラブには重要であると考えている。

(九州ブロック地方企画班 城野和則 奥松成安 土谷忠昭)